

<入浴動作の考え方>

入浴動作は水回りでもあり、自宅の中でも最も危険性が高い場所なので、**障害を有した場合、家族の介助もたいへんだから**ということ、**自宅で入浴する機会が少なくなります。**

しかし、

誰もがゆっくりとリラックスする場所なので、障害を有しても、「**自宅の浴室でゆっくり温まりたい**」と思うのは当然のことだと思います。

そこで、「しん」では以下のように浴室を工夫し、**自ら入浴できること、また、ご家族が他の方に気兼ねせず、介助の仕方を身につけられる**ようにしています。

<浴室の工夫>

これは「しん」の魅力の一つです。通常の施設にあるような大きな浴室ではなく、「**家庭**」にある**程度の大きさ**です。

縦手すりの意味

浴室入口の縦手すりは「**体の移動を安定させる**」ためであり、浴槽縁の縦手すりは浴槽に入るために浴槽縁をまたぎ易くするためです。

横手すりの意味

浴室入口の縦手すりから続く横手すりは「**体を安定して移動させる**」ため、浴槽横の横手すりは、「**体を崩さないで湯船につかる**」ためです。

